

男子決勝 沖縄三越A-祐斗クラブB 豪快なスマッシュを決める宮里卓(祐斗クラブB) ー県総合運動公園体育館



祐斗クラブB初優勝

オリオンビール杯卓球 女子は高山2連覇

卓球のオリオンビール杯 総合運動公園体育館で行われ、夏季一般団体戦は23日、県 された。男子1部は祐斗クラブBが決勝で沖縄三越Aを3-1で下し、初優勝を飾った。

宮里 強気で攻める

祐斗クラブBは沖縄三越Aとの決勝戦、で外すはずだった。しかしゲームに入るシングルスの根木貴光と新垣博之の2人が、その弱気な姿勢は全く見られない。仲勝った。宮里卓と狩俣亨のダブルス第4セットも9-3と大量リード、あと2ポイントで団体優勝が決まるはずだった。しかし、そこからまさかの逆転を許す。第5セット、第2セットも簡単に奪った。第3セットは激しいラリーの応酬で一進一退が続いたものの、最後はやはり宮里が強気のフォアハンドドライブを放ち、優勝を決めた。

念願の初優勝にも、具志堅監督は「常に先手を取る卓球をしないと」と、ダブルスの宮里らにチクリと注文を付けた。「守りに入ると、流れは一気に相手にいってしまふ」。挑戦する気持だが、いかに大事な朝仁。「戦いたくなかった」と、オーダーのか学んだ優勝だった。(久田尚志)

焦点

女子1部はリーグ戦3戦全勝のドリム高山が優勝、2連覇となった。(2部以下の記録は男女とも10月1日付のスポーツアイランドに掲載)

春に続き頂点

ドリム高山
○：ドリム高山にとつて金城ファミリアとの対戦が事実上の優勝決定戦となった。主将・奥平真樹の「みんな練習不足だった」という不安が的中し、エース格の陳瑜と、今季沖国大から加入した春満奈美がシングルスのまさかの敗戦を喫した。しかし、奥平と狩俣のダブルスがきっちり勝ったことでチームは落ち着いた。トーマズエンシェールAを3-0、沖国大を3-1で下し、3戦全勝で2

連覇を飾った。春季に続いての優勝。奥平は「高山朝光監督がオリオンビール勤務。負けることはできなかった」と、同社の冠大会に勝ってホッとした様子。秋の沖電杯、冬の琉球新報旗に向け「どこにも優勝したい」と、年間全勝を宣言した。

男子1部予選Aブロック
沖縄三越A 3-2
スマッシュボンバーA



男子団体を制した祐斗クラブB(前列右から宮里卓、新垣博之。後列右から具志堅監督、根木貴光、狩俣亨)

同Bブロック
祐斗クラブB 3-0
琉球卓球クラブ



女子優勝のドリム高山(右から陳瑜、奥平真樹、春満奈美、狩俣道乃)

沖繩三越A	3-1	コサ高OB	祐斗クラブB	3-2	外間クA
沖繩三越A	3-0	伊波ク	祐斗クラブA	3-0	琉球大A
スマッシュボンバーA	3-0	コサ高OB	外間クA	3-0	琉球大A
スマッシュボンバーA	3-2	伊波ク	琉球卓球クラブ	3-1	琉球大A
コサ高OB	3-2	伊波ク	▽成績	①祐斗クラブB3勝②外間クA2勝1敗③琉球卓球クラブ1勝2敗④琉球大A3敗	(各ブロック1位は決勝へ)
▽成績	①沖繩三越A3勝②スマッシュボンバーA2勝1敗③コサ高OB・A1勝2敗④伊波クラブ3敗		▽同決勝	祐斗クラブB 3-1	沖繩三越A
▽女子1部決勝リーグ			ドリム高山	3-1	沖国大
ドリム高山	3-0	トーマズエンジェルA	山A	3-0	トーマズエンジェルA
ドリム高山	3-2	金城ファミリア	山A	3-2	金城ファミリア
金城ファミリア	3-0	沖国大	金城ファミリア	3-0	沖国大
金城ファミリア	3-0	トーマズエンジェルA	沖国大	3-0	トーマズエンジェルA
沖国大	3-0	トーマズエンジェルA	▽成績	①ドリム高山A3勝②金城ファミリアA2勝1敗③沖国大1勝2敗④トーマズエンジェルA3敗	